

発展途上である M6 α

日産厚生会玉川病院 臨床工学科

井上 博満

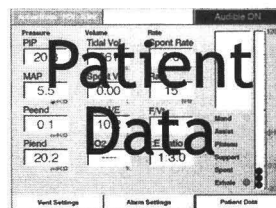
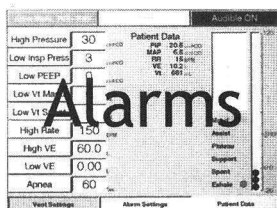
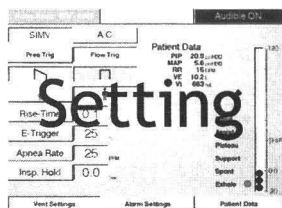
国産人工呼吸器として平成 12 年 9 月に市販されたメトラン社製 M6 α は、院内使用を基本に発売された機器である。私が最初に M6 α を見たときの印象は、コンパクトにまとまっているものの、外観を見ると一世代前の機器ではないかと思わせるものであった。しかし、実際に起動させてみると、現時点での上位機種と呼ばれる機器と対等に渡りあえる機器であると思われる。まず、吸気機能では従量式 (VCV)、従圧式 (PCV) の設定がボタン 1 つで切替が可能であり、モニター機能はすべて備えている。また、表示部に目を向けると、すべての表示は日本語表記になっているところがとても親近感が湧いてくる。操作性に対しては使用頻度の多い設定項目はロータリーダイヤルを設け、アラーム設定などの比較的使用頻度が低いものに関しては LCD 内に設置し、変更の際に選択スイッチにより操作を行う。コンプレッサーに関しては、製造時のコンセプトであった低騒音性及びオーバーホールサイクルの延長を実現しているところが大きなポイントである。さらに一番気がかりな価格面では、国産というものを如何なく発揮し、他機種に比べコストパフォーマンスに優れていることから、院内使用を基本とした M6 α はコンプレッサーを含め、推奨機器となり得る 1 台である。しかしながら、発売されてまだ日が浅い M6 α はいくつかの問題点が挙げられる。まず、吸気機能に関係なくロータリーダイヤルの変更が可能である。たとえば、VCV を行っている際に、PCV のみで使用する吸気圧や吸気時間の設定項目のロータリーダイヤル操作ができてしまう。吸気機能の切替を迅速に行うという意図はわかるが、使用しない設定項目部の表示を他と比べ、多少暗くなるようにはなっているものの、一瞬見ただけでは状況判断が難しい。使用しない設定項目に関しては、ブランクにするなど

の対応、不可能であれば現在発売されている機器にほぼ標準となっている設定ロックボタンなどの設置により改善が可能と思われるので善処していただきたい。また、停電時に必要不可欠であるバッテリーが搭載されていないため、停電時はシャットダウンされてしまい換気が不可能となってしまう。この点は内蔵バッテリーの標準化を早急に検討していただきたい。このほかにも問題点は指摘できるが、M6 α が推奨機器であるとした最大の要因は、国産ということから、ユーザーの意見を取り入れたアップグレード等に対して迅速である。現に発売からすでに 3 回のアップグレードが行われているというのはとても心強い。人工呼吸器に限らず、医療機器全体に言えることであるが、臨床現場への導入後初めて機器の改善点に気付くことが多く、導入後の機器の改善等は今後重要な機器選定の要素となるといえる。国産人工呼吸器 M6 α は、常にユーザー側の意見に耳を傾け、ニーズに合わせた改善が約束される点は大きな魅力であると言えるであろう。まだまだ成熟しきっていない M6 α はまさに発展途上であり、国産機器として今後ますます期待されるところである。

小児・成人用人工呼吸器 **M6α** エムシックスアルファ



VCV、PCV、PSV、CPAPなどの基本性能を世界品質へ、
さらなる使いやすさと進化する性能を追求します。



総販売元



木村医科器械株式会社

URL: www.kimura-medical.co.jp E-mail: tokyo@kimura-medical.co.jp

本社 TEL:03-3814-4481
大阪 TEL:06-6396-6241
名古屋 TEL:052-731-4337
福岡 TEL:092-474-8381
鹿児島 TEL:0992-67-8277

FAX:03-3814-5304
FAX:06-6396-4892
FAX:052-731-4458
FAX:092-474-8382
FAX:0992-67-8461

お問合せは

製造元



株式会社メラン

承認番号: 21200BZZ00329000